

想をもって活性化策を提案し、真に住民に信頼される職員となる

るような意識の改革にも徹底して取り組みます。

z f l

I p a

市町村合併の動きへの対応
合併特例法の期限が間近となり、全国的に市町村合併の議論や動きが活発になってきております。

久慈広域管内でも、一部で先行合併について積極的に取り組むとの情報や広域生活圏の課題、振興のあり方などについて研究会で議論が交わされております。

本村においては、市町村の合併が住民の主眼的な意見の集約のもと自主的な判断により行われるべきものであることから、当面の方針として、これらの議論の場づくりへのお手伝いや各種の情報の提供などを行ってきたいと考えております。

現在の村内状況を見ますと、いろいろな意見が内在するにしろ、どの考え方も村を二分、三分するような動きにはなっていないと判断しております。

隣接の町村などでも本村を相手とした合併の議論があるとも承知しております。

かかる状況を踏まえ、新たな動きなどが起きない場合

には、当面、村内での議論を喚起する方針を継続し、一層村の活性化と自立する村づくりに向けた取り組みを行いながら、今後進むべき方向を見定めるための努力を行ってまいりたいと考えております。

休養施設は 存続経営を

休養施設の経営改善の方針
国民宿舎くろさき荘、海の家



経営改善が待たれる国民宿舎くろさき荘

まっついその経営につきましても、その累積赤字が依然として縮減できない状況にあり、村民の皆さまに大変ご心配をおかけしております。

今後とも施設を存続し経営を行う所存であり、早急な経営改善を緊急の課題としております。

休養施設運営審議会の意見や庁内の事務改善委員会での議論、コンサルタントによる経営診断の結果などを踏まえ、民間ノーマウの導入の仕方、客室定員などの適正化、施設改修のあり方、材料仕入や人件費の削減策など個別具体的な検討を継続して行なって参ります。

次期定例議会までには、検討結果と改善のための具体的な取り組み方針などについてご協議いたしたいと考えております。

苦難を越え 未来に向う

以上、平成十四年度の行財政運営の方針と主な施策、予算編成方針などについて申し上げます。

予算概要や内容につきましましては骨子的な説明で終わらせていただきますが、国が積極的に進める行政改革、地方分権、市町村合併などの影



伝統芸能鵜の鳥神楽も村おこしの一助を担う



子どもたちの笑顔が未来を築く（普代小校庭で2月）

響で、地方公共団体も非常に厳しい運営を強いられております。本村も、これまで幾多の苦難の歴史があり、先人たちがこれ乗り越えてきたからこそ、我々がよって立つ現在の普代村

があることに思いをはせれば、今こそ村民一丸となつて立ち上がり、すばらしい自然や歴史、文化など特有の資源を活かし、多くの痛みや苦しみを共有し、総合発展計画の基本理念とする「自立する村づくり」に、村民の皆さまと一緒に、勇気をもって挑戦していきたいと考えております。

議員の皆さまの一層のご理解、ご協力と村民の皆さまの村づくりへの積極的な参加を心よりお願い申し上げます、私の所信表といたします。